

宮野業務執行理事が、報告について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「議長及び副議長の選出について」

第1号議案について、宮野業務執行理事が選出方法を諮ったところ、事務局一任との発言があり、宮野業務執行理事から、議長に山口評議員、副議長に中居評議員との提案があり、異議なく提案どおり決定した。

なお、議長に選出された山口評議員は本日欠席しているため、副議長の中居評議員が本日の議長として、議事進行をすすめることとなった。

以降の進行は、議長である中居評議員により進められた。

第2号議案「議事録署名人の選出について」

議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は大平評議員と廣田評議員の2名を指名した。

第3号議案「平成28年度事業計画及び収支予算の承認について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めた。

【角田評議員】

議案書8ページの事務局体制について総務管理部長（兼）というのは、兼務ということで間違いないか。企画事業部長は県職員が担うということによろしいか。

【菅原事務局長】

（兼）は兼任の意味であり、事務局長と総務管理部長を兼任としている。企画事業部長は、県職員が担当することとしている。

【廣田評議員】

公1の各種調査事業は、三陸DMOの活動へとつながっていく基礎調査と考えてよろしいか。

【菅原事務局長】

三陸DMOとして県の負担金を受け入れて行う事業の他にも基金で直接行う事業もある。

復興道路の整備や定期フェリーの開港など交通体系が大きく変わっていくということで、関連ある部分として、公共交通網形成に向けた調査、交流人口の拡大に向けた調査、物流システム構築に向けた調査を重点的に実施することとしているが、「交流人口の拡大に向けた広域活動調査」については、日本版DMOの申請をし、県の負担金を受け入れて調査を実施しようとするものである。その他の「公共交通網形成に向けた調査分析事

業」、「物流システム構築に向けた調査」、「民俗・伝統文化等地域資源活用等の調査研究」は、さんりく基金の直接事業として実施するもの。

【廣田評議員】

水産物の販路拡大について、復興の関係で、水産庁などが商品の展示会等を行っている。6県の商工会議所連合会も関係しているが、これらの内容と重複しないよううまく役割分担をしながらやってほしい。

【菅原事務局長】

物流については、復興需要でドライバーの確保が難しく、物流コストが跳ね上がっているという課題があげられており、水産加工業者等が連携した共同配送のような形で、効率的な物流システムを構築できないかという要望を受け、今回計画したもの。

商工会議所等の事業と重複しないように、上手く相乗効果があがるように調整していきたい。

【山崎評議員】

イベント開催助成事業について、何か予定しているものがあるのか。

【菅原事務局長】

現在、予定しているものはなく、これから募集をかけて、効果があがるものを採択していきたい。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議長は、その他質問、意見を求めたが、特に発言はなく終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午後2時35分閉会を宣言した。